



20km 男子スタート



エンジョイパーク



高校生の部



レース中の鈴木選手

今年は大会を盛り上げる関連イベントも開催しました！

● 前夜祭「能美市体育協会講演会 & トークショー」

第43回全日本競歩能美大会の前夜祭として「能美市体育協会講演会&トークショー」が3月16日、根上総合文化会館で開かれ、約620人に競歩や歩くことの魅力が伝えられました。

前半はテレビ局アナウンサーの塚田誉さんが『誉のドコ行く?』～上を向いて歩こう～と題し講演。交通事故で両足を骨折したことから、歩くことの楽しさを再認識した体験を語りました。後半は元競歩選手の喜多真裕美さんが、競歩のルールや正しい歩き方について説明しました。



塚田アナウンサーと馬場アナウンサー 喜多真裕美さん



● 第43回全日本競歩能美大会応援ウォーキング

大会当日、塚田アナウンサーと馬場ももこアナウンサーと一緒に歩きながら大会を観戦・応援できるウォーキングイベントが開催され、参加者は世界レベルのスピードを近くで体験していました。

お知らせ

健康ロード 競歩練習コースを整備

物見山陸上競技場の北に位置する健康ロードを往復2kmの競歩練習コースとして整備しました。競技者だけでなく、市民の皆さんも健康づくりの一環としてウォーキングなどにぜひご利用ください。除幕式と記念イベントの様子は来月号でお知らせします。



鈴木雄介選手 50 km競歩で日本記録樹立 世界選手権代表選考会兼日本選手権（輪島市）で優勝！



男子50km競歩 日本記録を更新する3時間39分7秒で優勝した鈴木選手（写真提供：フォート・キシモト）

4月14日、輪島市の日本陸連公認コースで行われた世界選手権代表選考会を兼ねた日本選手権50km競歩で鈴木雄介選手（富士通・松が岡出身）が3時間39分7秒の日本記録で優勝しました。

20km競歩で世界記録を持つ鈴木選手は、この大会で50kmに初めて本格挑戦。従来の日本記録3時間39分47秒を40秒上回る日本記録をマークし、今秋の世界選手権（ドーハ）の代表入りの条件を満たしました。世界選手権でメダルを獲得した日本人最上位は東京五輪代表に内定します。

初開催 輪島市にぎわう

今年は、根上野球場の周辺でテント市エンジョイパークを開催しました。食事やクラフト体験を楽しむことができ、大会の盛り上げに一役買いました。

国内外から307選手が出場

3月17日、第43回全日本競歩能美大会が根上北部児童センター前の県道直線折返しコースで行われ、国内外から307名の選手が出場しました。

大会後鈴木選手が市長訪問

陸上男子20km競歩で世界記録を持つ鈴木雄介選手が3月19日市役所を訪れ、第43回全日本競歩能美大会の成績を井出市長に報告しました。鈴木選手が能美大会に出場したのは、世界記録を樹立した2015年以来4年ぶりです。鈴木選手は「市民の皆さんが応援が力となり好タイムが出せた」と大会を振り返りました。リハビリの経過は順調であり、東京五輪について尋ねられると「出場するつもりで練習に取り組んでいる。能美市の皆さんにはぜひ応援してほしい」と意気込みを話しました。

